

第3回 PMstyleCafe レポート

2010年8月24日に開催しました第3回 PMstyleCafe のカフェファシリテータの今野浩一さんからカフェの振り返りを戴きましたので、共有したいと思います。

「カフェファシリテータ今野浩一さんからの振り返り」

今回のワールドカフェのテーマは「大人の管理」。

過剰管理でもなく放任主義でもない管理方法とはどのようなものか？

以下の問いの答えを考えながら、対話を楽しんでいただいた。

○おとなの管理、実現したらどんなことが起こっていますか？

○おとなの管理、あなたはどのように管理されたいですか

今回も、質の高い対話を楽しんでいただけるよう、特に意識したのは以下の3点でした。

1. 「対話とは何か」「対話の目的は何か」を参加者のみなさまと共有すること
2. ワールドカフェのルールにのっとってもらうこと
3. 探求することに時間を費やしてもらうこと

1. 「対話とは何か」「対話の目的は何か」を参加者のみなさまと共有

対話は、何が正しいかを決める議論ではありません。井戸端会議とも違います。

対話には目的があり、相互理解⇒目的やゴールの統合⇒問題解決という流れがあります。

ディベートで要求される「相手の欠点を探しながら、反論を組み立てながら聞く」というスキルを私たちは日常的に使っていますが、これでは、相手の話を「聴いている」とは言えません。

- ・前提：正しい答えはない
- ・態度：対話は、共通の理解を目指す
- ・目的：対話の目的は共通の基盤を「探す」こと

を明確に意識してもらう、対話の心がけについてお話しさせていただきました。

2. ワールドカフェのルールにのっとってもらうこと

カフェのエチケットは探求の場を作り出すためには、非常に重要です。

以下の、PMstyle CAFE 7つのディシプリンを、カフェ開始前に確認させていただきました。

○施行

- ・質問に集中する
- ・相手の意見の価値を探し、アイデアを紡ぐ
- ・「知らないこと」を探す
- ・エピソードを大切にす

○行動

- ・模造紙に書きながら話をする
- ・話は手短に
- ・沈黙を嫌わない

特に、「沈黙を嫌わない」が重要で、沈黙の時間に、人は深く熟考・内省しているのだそうです。

3. 探求することに時間を費やしてもらうこと

もっとも意識したことは、熟考・内省する時間をたくさん作っていただくことでした。

対話を通して得られた多くの気づきを、「大人の管理」実現のためにどのように活かしていくのか、十分に探求していただきたかったからです。

そのため、場づくりについては、みなさまのテンションがあまり上がらないようにファシリテートしてみました。

対話がわいわい盛り上がると、な〜んとなく「まあ、だいたいこのへんかな？」という結論にまとまってしまうことがあるので、今回は、すこし、静かで穏やかな雰囲気を作りながら進めました。

また、各ラウンドの終了時に、心にとまったキーワードを振り返っていただき、最後の全体セッションでは総合的なまとめを行わず、みなさんそれぞれが内省する時間を取りました。

まとめ

参加されたみなさんのほとんどが、すっきりしない終わり方だと感じているかもしれません。

「結局、大人の管理ってなんだろう。」という問いを、何かある毎に思い出していただけたのではないかと思います。全体の共有の中でも、深く内省されたことが伺えるコメントが多く、それぞれの「大人の管理」が深いところから浮かび上がってきたように感じました。